



東北大学グローバルCOE

Network Medicine 創生拠点

支倉フェロー成果発表会

久田 修

(呼吸器内科・助教)

「High level of serum SP-D with normal range of KL-6 predicts a good prognosis of patients with fibrotic changes on HRCT」

2010年9月13日(月) 7時30分～
医学部3号館10階呼吸器内科医局

学 会 名

European Respiratory Society 2010
(スペイン・バルセロナ)

聴講は自由大歓迎です。皆さんぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 貫和 敏博

(呼吸器病態学分野・内線8539)